

～ 雨垂れ、石を穿つ ～

「あまだれ、いしをうがつ」と読みます。これは、小さな水滴が長い年月をかけて何度も何度も繰り返し石の上に落ち続けた結果、石に穴を開けることがあります。転じて、「どんなに小さな努力でも根気よく続けてやれば最後には成功する」という意味です。

後期中間考査が終わりましたが、まだまだやることはたくさんあります。目下、最も重要なのは、これまで学んできたことの定着と、新しく学ぶことを素早く吸収していくことだと思います。ではどうしたらよいのか。このコツは単純です。

- 予習→授業→復習を繰り返す。
- 類題を徹底的に解きまくる。
- すぐにテストの振り返りを行う。

結局、もっとも近道になるのは「地道な繰り返し作業」です。

小さな反復練習が自分の血肉になって、次へのステップになってくれます。

もうかける時間も無くなりつつありますが、それでもやるならば「今」です。すべては「今」の積み重ねです。どれだけ積み上げることができるのか、とても楽しみです。がんばれ！3年生！

【時間割】															
	11/17 (月)			11/18 (火)			11/19 (水)			11/20 (木)			11/21 (金)		
	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組
1	国			社	英	数	国	理	数	社	技	国	美	体	理
先生															
2	数			英	理	公	国	数	音	家	社	技	英	社	数
先生															
3	英			公	数	体	数	体	国	技	国	家	数	美	英
先生															
4	社			数	公	英	体	音	社	音	家	理	体	英	美
先生															
5	理						理	国	体	理	数	社	総	総	総
先生															
6	総	総	総							道	道	道	総	総	総
先生															
備考	領域診断テスト ⑥面接演習			浜中研 歯科検診 45分授業			放：専門委			⑥面接演習			⑤⑥CBT 国語 筆記具 タブレット		

## 面接練習②

面接演習が始まり、実際に面接を通して自分のことを話す時期がやってきました。ガイダンスの通り、見た目、マナーに注意を払い面接に臨むことができていました。入退室や話し方に関しては、繰り返し、保護者の方や友人と練習を重ねていきましょう。

ただ、外見だけでは本当の意味で『話になりません。』

面接の基本は担当者との「コミュニケーション」です。志望理由をよく練って作成していても、『自分の言葉』で話さないと相手には伝わりづらいものです。また、「具体的なエピソード」など、相手にイメージが伝わりやすくなるよう工夫することも大切です。

- まずは、志望理由などしっかりと考えましょう。
- その際、具体的なエピソードを交えましょう。
- そして、思い出しながら話すのではなく、『自分の言葉』で面接官と会話しましょう。

面接のコツはたくさんあれど、相手に自分のことを会話の中で明確に伝えていくことが何より大事です。その際に、相手を気遣うことを忘れなければ、マナーの点でも問題はないはずです。しっかりと自己分析を進め、自分をアピールできるようにしましょう。がんばれ！受験生！

## ☆彡 12月の三者面談に向けて ☆彡

12月3日から始まる三者面談で、いよいよ受検（受験）校の決定となります。そしてこれ以降、担任の先生を通じて中学校とのやり取りが必要な場面が増えてきます。しっかりと「段取り」を確認して進めていきましょう。

- 受検（受験）校の決定

受検（受験）する高校を確認します。その際に第一志望なのか、第二志望なのか、第一志望であれば推薦を希望するのか、第二志望であれば併願優遇制度を使った受験なのか、一般受験なのか、そして私立高校であれば「個別相談」にはちゃんと行っているのかどうか、など多くのことを確認していくことになります。

- 推薦願・併願優遇願の作成・提出

推薦や併願優遇制度を希望する場合、中学校側に推薦願、併願優遇願（仮）を作成します。特に私立高校の場合、この書類をもとに、中学校と高校との間で入試相談等を通じて実際に推薦や併願優遇を受けられるかの確認を行います。この入試相談までの期間が非常に短いため、中学校側に高校に関する情報を正確に伝えられるよう取りまとめておいてください。

- その他

後期中間考査以降、受験校を変更しなければならない場合もあります。今のうちから「5科15ならここ」「5科14ならここ」「5科16ならここ」というように、条件に合わせた選択肢を用意しておくことをおすすめします。

○ひとことへのコメント、ありがとうございます。一部掲載します。

- ・「受験は団体戦」。素敵なことばですね。お互いに支え合って高め合えたら素晴らしいですね。

- ・陸上競技大会の応援の練習を家でかなり頑張っていました。応援する姿を近くで見るととても前向きな気持ちになれました。選手の皆さんも安全に楽しく結果を出せたようでうれしかったです！